

薄葉 ゆきえ

Usuba

Yukie

出身地	東京都 文京区
生年月日	1976年1月17日
趣味	映画鑑賞、旅行



経歴 & 活動内容

幼少期に肺炎にかかり後遺症で特発性の感音性難聴と診断される。以降も聴力が落ち続け、30代半ばで失聴した後、2022年に人工内耳の埋込手術を受ける。聞き取りにくさは残るもの、聴力活用、読話、文字、手話など相手や状況に合わせた方法でコミュニケーションをとっている。全国各地でユニバーサルマナーの講義を担当する他、情報やコミュニケーションのバリアの解消に向けたソリューションを提供するコネクト事業の立ち上げに参画。当事者の視点を活かし、聴覚障害のある人との向き合い方を学ぶユニバーサルコミュニケーション研修を開発する。最近では、障害者雇用やDEIをテーマとした講演活動も精力的に行う。

Q

聴覚言語障害とは、聞くことや話すことが難しい障害です。ただし、全く聞こえないのか、聞こえづらいのか、生まれつきか、中途失聴かなど、本人の聴力、成育環境、コミュニケーションの方法などにより、聴覚言語障害にも様々な違いや個性があります。

聴覚障害とは？

※株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害者が利用するスクリーンリーダー（画面読み上げソフト）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があるためです。漢字の表記のみにとらわれず、様々な視点から社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。

ミライロの講演・研修メニュー

ユニバーサルマナー検定

自分とは違う誰かの視点に立ち行動するためのマナーの習得。

障害者差別解消法の基礎講座

障害者差別解消法について、法律への対策や合理的配慮を解説。

ユニバーサルマナーアカデミックプログラム

小・中・高等学校の子どもたちに向けた、ユニバーサルマナーの講義。

ユニバーサルコミュニケーション研修

聴覚障害のある方への向き合い方やサポート方法、簡単な手話を解説。

ユニバーサルワーク研修

企業や自治体において、精神障害者の雇用を成功させるための研修。

LGBT 対応マナー研修

多様な愛の形や性のあり方を知り、必要な配慮を学ぶ研修。

ミライロの会社紹介

社会には、環境、意識、情報のバリアが存在します。これら3つのバリアを解消するため、障害者の視点を取り入れた設計や監修、教育研修、WEBアクセシビリティの整備などを行っています。国籍、性別、年齢、身体特性に関わらず、それぞれの経験や感性を活かし、個々の価値を最大化できる社会の実現を目指しています。

ご相談・ご依頼

講演のご相談、ご依頼はお問い合わせフォームよりご連絡ください。

ミライロ 問い合わせ

